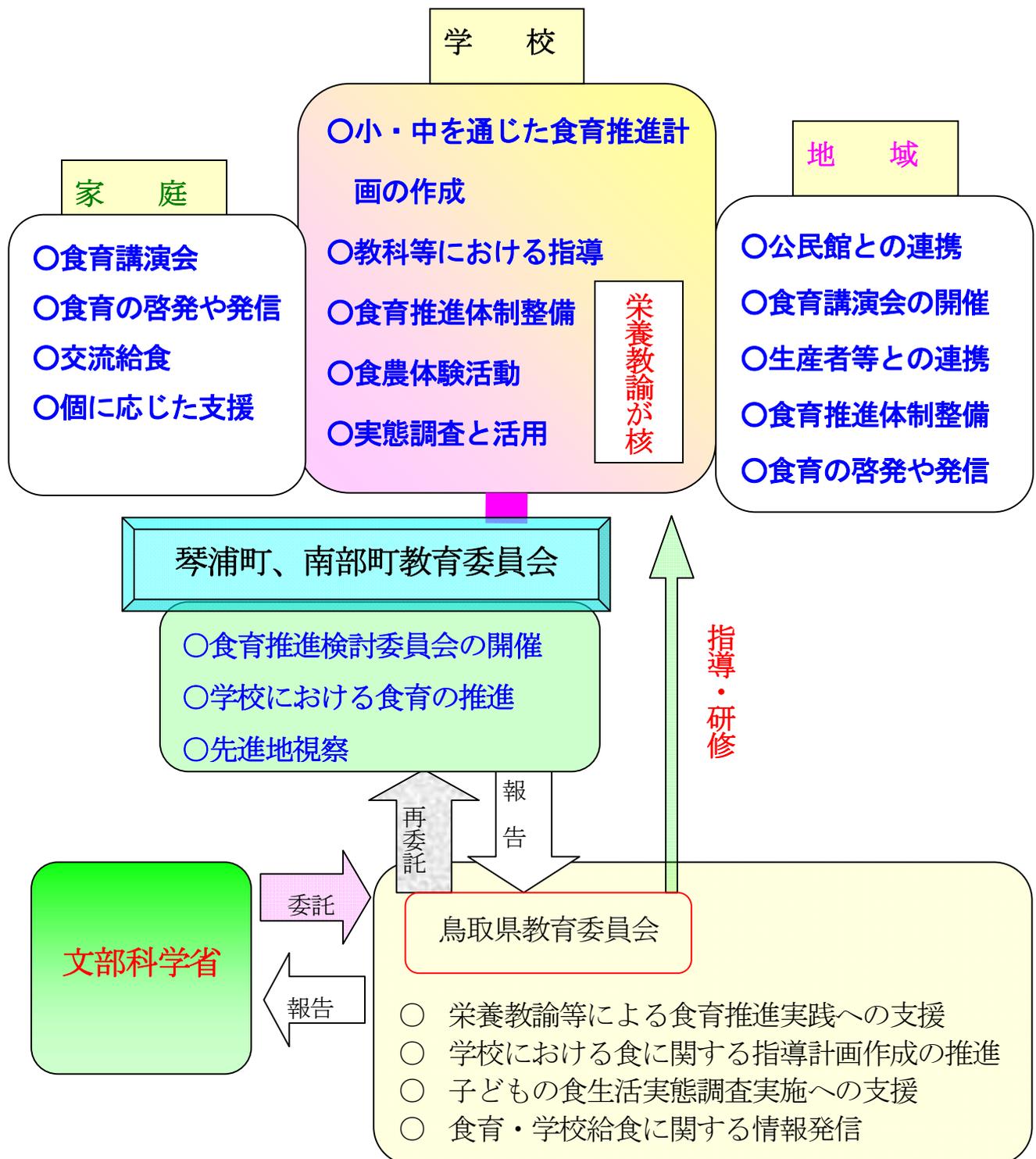


# 栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	鳥取県
推進地域名	琴浦町、南部町

## 1. 事業推進の体制

【鳥取県】



## 2. 具体的取組等について

### テーマ1 各教科等における食に関する指導を充実させるための方策

- 栄養教諭と学級担任、養護教諭等が連携した食育の授業実践及び効果的な指導方法の研究推進を支援。  
(岩美町教育研究会、東部地区学校栄養士協議会研修会等において指導助言を実施)
- 指導用教材の開発や作成、配布及び活用の促進。  
(県学校栄養士協議会と連携し、食育教材「地産地消～エプロンシアター」「魚食べ方」等を作成)
- 栄養教諭等の資質向上を目指した研修を実施し、学校における食育の推進を支援。  
(テーマ：児童生徒の理解と授業づくりの基本、食に関する指導の工夫 等)
- 各教育局と連携し、食に関する指導「全体計画」及び「年間指導計画」の作成について学校に働きかけを実施。



\*地産地消～エプロンシアターを活用した給食時間の指導

### テーマ2 学校と家庭との連携による食に関する指導の充実のための方策

- 児童生徒の食生活調査の取りまとめを支援。  
(鳥取県学校栄養士協議会と連携し、小学校5年生、中学校2年生を対象に全県における調査を実施)
- 校長会等で家庭と連携した食に関する指導の充実について呼びかけを実施。
- 県教育委員会の広報誌(とっとり 夢ひろば)を通じた学校給食・食育の啓発や情報の発信。
- 「心とからだ いきいきキャンペーン」について学校給食を通じた食に関する指導実施への支援。
- 「夏休みチャレンジ! 自分で作ろう米飯朝ご飯」募集の実施(食のみやこ推進課との共催)

#### 【教育だより とっとり夢ひろば】

#### 【心とからだ いきいきキャンペーン】



### テーマ3

### 学校と地域との連携による食に関する指導の充実のための方策

- 「県民の日」に地場産物や県産品を活用した食に関する指導の取り組みについて支援。  
(県内の学校給食における地産地消献立、食に関する指導の取組について情報提供)
- 県産品利用や食育について関係者が再確認し、連携しながら学校給食における地産地消を推進。  
(学校給食用食材県産品利用推進会議を開催し、情報交換及び意見交換を実施)
- 地域の人々や生産者との交流給食等の実施を支援。
- 「お米を使った朝食献立コンクール」への支援。(鳥取県学校給食会主催)

### テーマ1～3に共通する具体的計画

- 鳥取県健康づくり文化創造推進県民会議「健康を支える食文化」専門会議への参画  
(食のみやことっとり～食育プラン(第2次鳥取県食育推進基本計画)の改訂)

### 本事業における評価指標

- ①朝食喫食率
- ②給食残食率
- ③学校給食用食材の県産品使用率
- ④食に関する指導全体計画・年間指導計画の作成

### 本事業の成果

- 朝食を毎日食べる子の割合： 小5 99.0% (99.5%) 中2 99.3% (99.2%)
- 学校給食用食材の県産品使用率： 71% (66%)
- 食に関する全体・年間指導計画の作成率： 小学校 87% (82%) 中学校 52% (45%)
- 県内2町を食育推進地域として、学校・家庭・地域が連携した食育の取組を実施したことにより、県全体で見ると、これまでに9市町村(19市町村中)での食育推進の体制整備を行うことができた。  
※( )内数値：H23年度

### 今後の課題(今回の事業により新たに見えた課題など)

- 食に関する指導の全体・年間指導計画の作成率向上：各教育局等と連携して働きかけを継続する。
- 児童生徒の食生活調査結果の活用：朝食喫食率は向上したが、内容については不十分である等、今年度の調査で明らかになった。児童生徒の望ましい食習慣の定着を目指して、さらに食育の推進が必要である。
- 家庭・地域との連携：保護者の意識や関心に、二極化の傾向が見られるとともに、食育の重要性は理解しても日々の実践や習慣化には至っていない。学校と家庭が今後も連携しながら、継続して食育に取り組んでいくことが大切である。